

調布市立第四中学校

11月23日は勤労感謝の日です。私たちが毎日おいしい給食を食べることができるのは、様々な立場で食に関わる人たちが支えてくれているおかげです。今回は中学校の給食を陰でサポートしてくださる方の紹介をします。これからも感謝の気持ちを忘れずに給食をいただきます。

～牛乳室～

調布市内の中学校は、当初、牛乳だけの提供を行う「牛乳給食」でしたが、現在でも牛乳は中学校に直納されています。各中学校には牛乳保冷庫を備えた「牛乳室」が設置され、通称「ミルクさん」が衛生管理基準に基づく牛乳の保管・提供等の業務を担当されています。※



牛乳の納品時に状態や温度を確認します。また、50mlを保存食として保管します



クラスごとに本数を数えて食缶に入れ、給食の時間まで冷蔵庫で10℃以下で保存します。



若葉小学校から、中学校の給食を積んだトラックが到着します。

～給食運搬トラック～

四中の給食は、隣の若葉小学校の調理室で調理され、2クラス分を1台のコンテナに入れてトラックで中学校まで運ばれて来ます。その後、エレベーターを使い、各クラスに届けられます。運転手さんと助手さんが細心の注意の下、運搬作業にあたられています。



2クラス分の給食が入ったコンテナを各クラスの前の廊下まで運びます。



クラスの給食人数ごとに仕分けした牛乳を給食当番の生徒に手渡します。



飲み終わって返却された牛乳パックやストローをまとめたり、食缶を洗浄・消毒します。

※学校給食は、法律で学校給食衛生管理基準が定められており、食品の検収方法・納品温度・保管方法等細かく決められています。

給食配送業者
SBS ロジコム株式会社
の皆様へ

話をお聞きしました！



Q.生徒と関わる際、心がけていることはありますか？

A. 皆さんと関わる時間はほんの僅かですが、衛生面や安全面に気をつけながら、元気な皆さんに負けなように、私達も明るくハキハキと気持ち良く対応出来るよう心掛けています。

きれいにまとめられた空パック



Q.給食を運搬する際に、気をつけていることは？

A. 自分も数年前まで給食を食べていました。なので、この仕事できて嬉しいです。これからも給食が無事に手元に届くように、安全運転に努めていきますので、よろしくお願いします。

Q.生徒へメッセージをお願いします

A. いつも給食の準備や片付けにご協力いただきありがとうございます。給食を作ってくださる小学校の栄養士さんや調理員さんに感謝の気持ちを持って、美味しい給食を沢山食べてください。

11月30日(木)はゲゲゲ忌の献立です

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、漫画家・水木しげるさんは調布市の名誉市民です。鳥取県境港市で育ち、その後、昭和34年から93歳までの間を調布で過ごし、たくさんの作品を作りあげました。調布市では、水木さんの亡くなった11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、いろいろな催しが行われています。そこで30日の給食は「ゲゲゲ忌」にちなんで、水木さんが大好きだった料理を献立に取り入れています。楽しみにしてください！



©水木プロ

●令和5年度3学期の給食申込について●

令和5年度3学期の給食申込書・振込票を11月中旬頃に配布いたします。申込予定の方は期日までに申込みください。申込みをされない方も、申込書の提出をお願いいたします。

申込期日：令和5年12月4日(月)